

第2回 横浜市青葉公会堂及び横浜市青葉スポーツセンター指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和3年7月27日(火) 13時15分～16時50分
開催場所	青葉区役所 405会議室
出席者 (五十音順)	計良委員、越田委員、齊藤委員、高橋委員、吉原委員(計5名)
欠席者	なし
事務局	高橋担当係長、五十嵐職員、齊藤職員
開催形態	一部非公開(傍聴者3人)
議 事	1 指定管理者応募書類及び面接審査(公開) 2 指定候補者、次点候補者の選定(非公開) 3 その他(非公開)
決定事項	横浜市青葉公会堂及び横浜市青葉スポーツセンターの指定候補者に「コナミスポーツ・東急コミュニティー共同事業体」を選定し、次点候補者を「横浜市スポーツ協会・KPB・横浜市民施設協会共同事業体」とし、青葉区長に報告する。
審議内容	<p>1 応募書類及び面接審査(応募団体プレゼンテーション・質疑応答) (公開、ただし応募者の関係者は除く) 欠格事項について、事務局から「該当なし」と報告。 応募者財務状況の確認結果について財務専門委員から「審査対象から除く必要なし」と報告。応募団体は3団体で、応募書類の受付順にプレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。</p> <p>【主な質疑内容】</p> <p>(1) 横浜市スポーツ協会・KPB・横浜市民施設協会共同事業体 (委 員) 公会堂とスポーツセンターを一体的に管理することにより受付に死角ができるが安全面はどのように考えているのか。 (応募者) 巡回や必要に応じて防犯カメラを設置すること等により安全面を確保します。 (委 員) 収支予算で利用料金・利用率はどのように算出されたのか。 (応募者) 他の公会堂とスポーツセンターの複合施設を管理しているので、その施設を参考に算出しました。 (委 員) キャッシュレス決済の導入はスポーツセンター・公会堂両施設とも予定しているのか。 (応募者) 両施設とも導入することを考えています。 (委 員) 修繕費の金額はいくら見込んでいるのか。 (応募者) 660万円を想定しています。なお、修繕が必要となった場合は、他の管理施設でも想定より多く修繕を行っている実績がありますので、区と相談の上必要な修繕を実施します。 (委 員) 提出書類やプレゼンテーションの内容はとても良い計画となっている。この計画を確実に実行するために、どのようなことが重要であるか、また目指している方向等を聞きたい。 (応募者) 公会堂やスポーツセンターの運営で経験を持っているので、その経験から実現できる内容を提案しています。他の管理施設では進捗管理を適切に行い、提案内容は当初の3年でほぼ全て実施しています。また、未達成の提案も残り2年で実施しています。 (委 員) 健康増進施設へのプロセス等を教えて欲しい。</p>

- (応募者) トレーニング室等に体力測定機器がありますので、1、2年で健康増進施設として認定されると思います。
- (委員) この施設ならではの特色はどのように考えているのか。
- (応募者) 2つの施設が一緒なので、スポーツと文化で相乗効果を発揮する施設とします。また、区内で他の複数の区民利用施設を管理していますので、他の区民利用施設と相乗効果を図ることもできます。自治会や町内会等と連携を図ることもできますので、それも施設の特色となります。
- (委員) 派遣事業に力を入れるとのことだが、具体的に教えて欲しい。
- (応募者) 区内の他の施設を管理しており、その施設に派遣します。また自治会・町内会からの要請にも対応します。派遣は施設の職員や地域の人材バンクに登録している人となります。
- (委員) 派遣先を教えて欲しい。
- (応募者) 地区センター・地域ケアプラザ等を考えています。
- (委員) どのくらいの派遣数を考えているのか。
- (応募者) 月に10回程度を想定しています。
- (委員) 非常時の備蓄はどの程度を想定しているのか。
- (応募者) 利用者等の備蓄として1日分を事務所の倉庫に保管します。
- (委員) モニタリングの方法はどのようにするのか。
- (応募者) 3か月に1回来館者にアンケートを実施します。また年1回利用者やスポーツ推進員等の地域の方と懇談会を開催します。また外部評価は、区の指定とは別に団体独自でも実施します。

(2) AOBA まちづくり共同事業体

- (委員) 公会堂での新しい取り組みは何かあるのか。
- (応募者) 施設の利用方法は現在の方法を継続しますが、利用者のご意見を伺いながらデジタルの活用等、より良い受付方法を検討します。自主事業のチケット購入は、現在の方法に加え、電子チケットも採用します。電子チケットにより非接触型の方法となります。
- (委員) 指定管理料を縮減した提案となっているが、具体的にどのように収入を増加させ、経費を縮減するのか。人件費はワークライフバランスの問題も絡んでくると思うが考え方を教えて欲しい。
- (応募者) 収入については、現在未実施のオンラインやアウトドアのプログラムの実施により10%の収入増を見込んでいます。また、区内の事業所と備品を一括で購入し経費を削減します。人件費については、現在女性職員の雇用も多く管理者としても活躍しているので、スポーツセンターでも活用していきます。
- (委員) 修繕費はどの程度計上しているか。
- (応募者) 予期しない修繕にも対応できるよう、区の想定額に100万円程度上乗せした金額を計上しています。
- (委員) 歳出について、修繕費は確保されているが、それ以外の項目で今回の予算額で収まるのか疑問に感じている。具体的にどの項目を重点に配分したのか。
- (応募者) 予算額以上の修繕が発生した場合は、間接的な経費等から捻出し対応します。また、利用管理システムの導入やWi-Fiの設置、館内のキャッシュレス化の促進等の経費を新たに計上しています。

障害者の方への配慮としてオストメイトのトイレを自主事業の利益から捻出し設置します。

(委員) 修繕計画について、専門家が施設を点検の上作成したとのことだが、課題等は何かあったのか。

(応募者) 施設が休館のため具体的な課題の特定はできませんでした。指定管理者に選定された際は、初年度の工事期間の休館中に施設内を改めて確認し、課題を特定の上修繕計画を見直します。

(委員) 提案書では近隣の団体と連携を組むとのことだが、近隣はどの地域のことを指しているのか。

(応募者) 区内7か所で事業を展開していますので、区全域を近隣と位置付け連携して事業を実施します。

(委員) 障害者の方の更衣室はどのように考えているのか。

(応募者) 予備更衣室を開放し、障害者の方へ利用していただきます。

(委員) 託児サービスの具体的な内容を教えて欲しい。

(応募者) 月1回託児サービスを行い、ニーズを検証し拡充を図ります。プログラムも子育て世代が参加しやすいプログラムを実施します。区内の託児ボランティアの方等と連携しサービスを提供します。

(委員) 災害が発生した場合の対応を教えて欲しい。

(応募者) 本部や外部のスタッフを施設に配置し対応します。

(3) コナミスポーツ・東急コミュニティー共同事業体

(委員) 障害者の更衣室はどのように考えているのか。

(応募者) 多目的トイレをご案内します。また要望をお伺いし、空いている部屋を用意する等柔軟に対応します。

(委員) 公会堂のキャッシュレスは予定されているのか。

(応募者) キャッシュレスを導入する予定です。

(委員) 公会堂をより魅力的な施設とするための考えを教えて欲しい。また、災害時の対応も教えて欲しい。

(応募者) オンライン対応やオンライン会議の備品の貸出を行うなど新しい使い方を提案します。また公会堂の魅力は豊富な自主事業なので、コロナ渦の中で提供できる範囲で事業を実施します。また災害時の対応としては、避難された方のため独自で水を備蓄するとともに、簡易の発電機等の備品も用意しています。

(委員) 利用料金収入が想定以上となった場合、20%程度還元することとのことだが、20%に設定した理由と見込まれる還元額を教えて欲しい。また修繕費は区の想定を超える900万円となっているが設定理由を教えて欲しい。休館中の対応についても教えて欲しい。

(応募者) 休館中はオンライン運動動画を配信します。また団体の予算で区内の他施設において、青葉スポーツセンターの教室体験会を実施するとともに、休館明けには記念イベント等を開催します。また20%は他に管理している施設を参考に設定しています。還元額は50万円程度を想定しています。修繕については、経年劣化以外にも、壊れる前に設備や機器の更新を行う予防保全やLED化の実施等も想定し設定しています。

(委員) 動画の配信は誰を対象としているのか。

(応募者) 高齢者や女性等、幅広い方を対象とした動画を用意しています。

2 指定候補者、次点候補者の選定について（非公開）
（事務局）評点について、集計したものを委員に提出。

順位	団体名	総合評価 (点)
1	コナミスポーツ・東急コミュニティー共同事業体	600点
2	横浜市スポーツ協会・KPB・横浜市民施設協会共同事業体	581点
3	AOBA まちづくり共同事業体	533点

(総合計点数 800点 +50点～-25点)

【指定候補者、次点候補者に関する講評】

・指定候補者に関する講評

今まで培ったノウハウや地域との繋がり等がよくわかる提案であった。プレゼンテーションが具体的で数値目標も現実的でわかりやすかった。障害者の更衣室等バリアフリーへの対応について、今後の状況を第三者評価の際等に確認する必要がある。

・次点候補者に関する講評

提案内容も良く実績も素晴らしい。区の特徴を出した取組が盛り込まれているとより良い提案となった。講師の派遣を事業の中心にしている点が良い点になった。派遣費用を施設の運営に使用するような提案が欲しかった。

【総評】

3団体とも提案内容が素晴らしくどの団体も選定されても水準以上の運営ができる内容であった。その中で指定候補者はわかりやすい提案内容や現指定管理者の実績等が評価された。

財務状況について、平常時は特に問題はなかったが、令和2年度決算ではコロナの影響による業績低下についての指摘があった。

なお、指定管理者及び次点候補者ともに懸案事項が出ているので、選定された際には懸案事項を確認の上施設を運営して欲しい。

3 その他（非公開）

講評、総評に基づき、報告書を青葉区長に提出する。

資料

・
特記事項

- 1 次第
- 2 第2回委員会について
- 3 評点表
- 4 応募書類一式
- 5 報告書（素案）

特記事項